

会議記録（１）

会議名称	令和２年度第１回北本市地域公共交通会議
開会及び 閉会日時	令和２年１１月６日（金） 開会 午前１０時００分 閉会 午前１１時１５分
開催場所	北本市役所 ３－Ｅ・Ｆ
議長氏名	吉野 一
出席委員 （者）氏名	吉野一 川邊 勝（代理） 長谷川洋司 鈴木貴大 鶴岡 洋 高橋 博 南雲俊雄 菊池政義 鈴木正博 榎本 昌己（代理） 青木宏之 金子秀和 長嶋輝 山本悟志 松本みどり
欠席委員 （者）氏名	野口佳一 森村正寿
説明者の 職 氏 名	くらし安全課長 関口智明 くらし安全課主幹 中根 武 主査 渡部健則 主任 小室良子
事務局職員 職 氏 名	くらし安全課長 関口智明 くらし安全課主幹 中根 武 主査 渡部健則 主任 小室良子
会議次第	<p>１ 開会</p> <p>２ 副市長あいさつ</p> <p>３ 会議の公開について</p> <p>４ 議題</p> <p>（１）市内公共交通の現状について</p> <p>ア 市内路線バスの運行状況について</p> <p>イ 令和元年度デマンドバスの実績報告について</p> <p>ウ アンケート調査の結果について</p> <p>（２）令和３年度以降のデマンドバスの運行について</p> <p>ア 市外一部医療機関への本運行について</p> <p>イ 運賃収入の状況について</p> <p>ウ 運転免許自主返納者割引の利用状況について</p> <p>エ インターネット予約の利用状況について</p> <p>オ 令和３年度以降の運行内容について</p> <p>（３）その他</p> <p>５ 閉会</p>

会議記録（1）

配布資料	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度第1回北本市地域公共交通会議 次第・令和2年度北本市地域公共交通会議委員名簿・北本市地域公共交通会議設置要綱・資料1 市内公共交通の現状について・資料2 令和3年度以降のデマンドバスの運行について
------	--

会議記録(2)

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 副市長あいさつ</p> <p>3 会議の公開 会議は公開とする。 会議の成立 委員18名中、16名が出席されていることから、会議が成立する。</p> <p>以下、吉野会長が議長となり、議事を進行する。</p> <p>4 議事</p>
議長	<p>それでは、議事に入る。 議題(1)市内公共交通の現状について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料1をもとに説明する。</p>
議長	<p>これより質疑に入る。議題(1)について、質問はあるか。</p>
青木委員	<p>アンケート調査の結果について、インターネットモニターアンケートの回答率は、54%、その内、男性76%、一方、利用者アンケートの回答率は、13%、その内、女性87%となっている。アンケートによって、回答者の偏りがあるが、どのように実施したのか。</p>
事務局	<p>インターネットモニターアンケートは、市が運営している登録制のアンケートとなり、登録者が、インターネットを通じて回答する。 一方、利用者アンケートは、デマンドバス乗車時に直接アンケート用紙を配布し、利用者から回答を得たものである。</p>
鈴木委員	<p>利用者アンケートの回答率は低く、インターネットモニターアンケートの回答率は高い結果となっている。 しかし、インターネットアンケートは、アンケート対象者である分母が小さく、市民の声を反映したアンケート結果とは思えない。 デマンドバスの状況をより正確に把握するには、アンケートの分母を増やしていく必要があると思う。 また、アンケートの内容も一致していないため、クロス集計することでも</p>

会議記録（２）

	<p>きない状況となっている。</p>
事務局	<p>インターネットモニターアンケートは、登録制のアンケートとなっており、一定の回答数を確保できるといったことがあり、この方法でアンケート調査を実施した。</p> <p>しかし、ご指摘のとおりアンケート対象者を広げることは、市民の声を把握するのに有効であると思う。今後、アンケート調査を実施する際は、調査方法等、十分検討していく。</p>
高橋委員	<p>資料１、１５ページ以降の参考集計結果は、どのくらいの期間を対象としたものか。</p>
事務局	<p>本運行を開始した平成２３年度から令和元年度までの累計の数値である。</p>
議長	<p>他に質問はないか。</p>
委員一同	<p>— なし —</p>
議長	<p>他に質問等ないので、議題（１）については、委員よりご意見いただいたアンケートの調査方法について、事務局は今後検討するようお願いする。</p>
議長	<p>次に、議題（２）令和３年度以降のデマンドバスの運行について、事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	<p>資料２をもとに説明する。</p>
議長	<p>これより質疑に入る。議題（２）について、質問はあるか。</p>
高橋委員	<p>デマンドバスの利用者は、高齢者が多いようだが、新型コロナウイルス感染症についてどのような対策を講じているか。利用者にマスクの着用を徹底しているか。高齢者の利用が特に多いので注意をお願いする。</p>
事務局	<p>飛沫防止対策として、運転席と客席の間に、ビニール製の仕切りを設置している。また、車内にアルコール消毒液を常備し、定期的な消毒作業などの予防策を講じている。</p> <p>なお、利用者には、乗車の際にマスクの着用をお願いしている。</p>

会議記録（２）

鈴木委員	<p>JRや路線バスなどは、換気機能が優れており、新型コロナウイルス感染症に対して、安全性が高いと言われている。</p> <p>一方、セダン型プリウスのデマンドバスは、換気能力に疑問がある。どのような換気対策を講じているか。</p> <p>また、デマンドバスに車載用換気機能を追加装備できないか。換気はきちんとした方がいいと考える。</p>
事務局	<p>運行時に車両の窓をあけて換気を行っている。</p> <p>今後、既存の対策や現在の換気機能では、十分でないと判断された場合には、運行事業者等と協議しながら装備の追加等検討していく。</p>
鈴木委員	<p>埼玉県中央病院は病院による無料の送迎バスが運行されている。また、埼玉脳神経外科病院の近くには、朝日自動車（株）のバス停がある。令和3年度から本運行を開始するにあたって、朝日自動車（株）に事前の説明や理解は得られているか。</p> <p>本運行にあたっては、朝日自動車（株）の理解や了承を得た方がよいと考える。</p>
事務局	<p>承知した。</p>
鈴木委員	<p>インターネット予約は、スマートフォンからも予約できるか。また、導入にどれくらいの初期費用がかかっているか。</p>
事務局	<p>スマートフォンからも予約可能である。</p> <p>また、インターネット予約は、現在運用している予約管理システムの既存機能で対応できるので、追加の費用は発生していない。</p>
鈴木委員	<p>予約管理システムであるコンビニクルのランニングコストはどのくらいか。</p>
事務局	<p>月額約10万円程度となっている。</p>
松本委員	<p>インターネット予約が始まるにあたりどのような広報を実施したのかホームページには掲載しているか。</p>

会議記録（２）

事務局	<p>広報きたもとに掲載するとともにホームページにも掲載している。また、新規申請者については、窓口で案内するなど、周知に努めている。</p>
議長	<p>他に質疑はないか。</p>
委員一同	<p>— なし —</p>
議長	<p>他にないので、議題（２）については、朝日自動車（株）のご理解、ご了承を得たうえで、デマンドバスの市外医療機関への本運行を実施するという ことで、ご承認いただけるか。</p>
委員一同	<p>— 異議なし —</p>
議長	<p>事務局は、デマンドバスの市外一部医療機関への本運行について、朝日自動車（株）のご理解、ご了承を得ることをお願いする。</p>
事務局	<p>承知した。</p>
議長	<p>次に、議題（３）その他について、事務局より連絡事項等あるか。</p>
事務局	<p>新聞等でも報道されているが、丸建自動車（株）の民事再生手続きが廃止となり、現在、事業譲渡に向けて交渉を続けているとのことである。市としては、今後の状況を注視していく。</p> <p>なお、今後、本会議を開催すべき事案等ができた場合には、再度皆様のご協力をお願いする。</p>
鶴岡委員	<p>埼玉県バス協会からのお願いとなる。コロナ禍においても、バス・タクシー事業者は、感染予防対策に万全を期している。こういう時期だからこそ、地域の公共交通機関であるバス・タクシーを将来に向けて維持するためにも、ぜひお気軽にバス・タクシーのご利用をお願いする。</p> <p>今後も、バスの利用者は、テレワーク等でコロナ禍前の状態には戻らないだろうと言われており、厳しい経営環境にある。特に観光バスは行政からの支援が少ないので、学校等のイベントの際の移動手段として利用いただくことも可能なので、ご利用方お願いする。</p>
議長	<p>以上で議事を終了する。</p>

会議記録(2)

事務局	5 閉会
	<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。</p> <p>令和 2 年 11 月 19 日 <u>吉野 一</u></p>